

令和4年度 研究全体計画

研究研修部

【研究主題】 学びの変革:個別最適な指導の在り方(2年次)
～ICT 等を活用した個別最適化学習の開発～

1 研究主題設定理由

平成29年4月に新学習指導要領が告示され、今年度から高等部も完全実施となる。また、令和元年にはGIGAスクール構想が発表となり、昨年度から一人一台端末が配布され、iPad等の端末を活用して自ら学んでいく学習スタイルが始まった。さらに、令和3年1月には、答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』が発表された。この答申では、「個別最適な学び」というキーワードが示され、児童生徒の学習課題に応じて、ICT等を活用しながら、児童生徒一人一人のペースに合わせて着実に資質・能力を身に付けていくことが述べられている。このような「個別最適な学び」という概念は示されたものの、特別支援教育における具体的な指導方法はまだ少ない。どのような指導が「個別最適な学び」なのかを明らかにしていく必要がある。

当校は、昨年度も上記の研究主題を掲げ、校内研究を行ってきた。特別支援教育に関する「個別最適な学び」に関する情報が少ない中で、試行錯誤しながら実践研究を進めてきた。しかし、やはりまだ学習課題の設定やその評価に曖昧さが見られた。職員へのアンケート結果でも個別最適化学習についての理解が浅く、指導に自信がもてないという結果が明らかとなった。

そこで、今年度は「個別最適化学習」における各段階の観点を確認するためのワークフロー図を用意し、一人一実践として取り組む。その実践を各学級や各学習グループ内で協議して客観性を高めていきたい。学習活動の工程としては①「学習診断」、②「教材選定」(段階、操作性等)、③「指導方法の工夫」、④「評価」といった観点を共通にして実践研究を進める。そして、実践研究を通して児童生徒が主体的に学習に取り組み、成果が見られたかを検証していく。

この他、当校職員として肢体不自由やその他の障害に関する障害理解、特別支援教育に必要な安全、福祉サービス、ICT機器活用等の指導に関する内容についての専門性を高めていく。その際、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、オンラインやオンデマンド等での研修形態を取り入れて実施していく。加えて、特別支援教育に関する最新情報(文献や研修資料等)をインターネット等で調べ、提供していきたい。

2 ねらい

- (1) 個別最適化学習について、ワークフロー図を参考に実践研究し、学習診断、教材選定、指導方法の工夫、評価などの特徴を明らかにする。
- (2) 当校教職員の一人として、児童生徒の障害理解や指導方法等における専門性の向上を図る。

3 研究方法

(1) 授業研究

- ・個別最適化学習のワークフロー図を基に、観点について理解を深める。(5月)
- ・各学級・学習グループ単位で実践研究協議を行う。(月1回)
- ・実践研究を基に研究成果をまとめ、発表し合い、情報の共有を行う。(12月)
- ・実践研究全体を整理、分析し、「個別最適な学び」の指導の特徴や傾向を明らかにし、改善方法等を提案する。(研修研究部)

(2) 専門研修

専門性向上を図るため、下記の分野について研修する。※次頁研修計画一覧参照

| 研修分野 | 主な研修 | 参加対象 |
|---------|------------------------|----------|
| 障害理解 | 運動発達、認知特性、手の発達、言語発達等 | 新任者、希望者等 |
| 指導・支援方法 | 身体介助、摂食指導、ICT等 | 新任者、希望者等 |
| その他の研修 | 福祉サービス、いじめ・自殺予防、不審者対応等 | 全職員等 |

(3) 情報提供

- ・最新書籍や参考となる文献、HPの紹介
- ・「みんなの図書館(PCデータフォルダ)」の活用工夫…参考となる文献、研修資料等を収集し、紹介する。
- ・外部団体等の研修案内

令和四年度 研修計画一覧

研究研修部

＜研究主題＞
「学びの変革: 個別最適な学びの指導の在り方～ICTを活用した個別最適化学習の開発～」(2年次)

| 障害理解分野【5講座5回】 | | | | 実践研究分野【5講座13回】 | | | |
|---------------|------|------|-------|----------------|--------------|----|-------|
| 研修内容 | 日程 | 対象 | 企画・運営 | 研修名 | 日程 | 対象 | 企画・運営 |
| 障害の理解と指導の実際 | 4月2週 | 新・希 | 自活 | 研究全体会①② | 4月2月 | 学 | 研研 |
| 運動発達講座 | 夏季休業 | 新・希 | 研研 | 実践研究の進め方 | 5月 | 学 | 研研 |
| 認知特性講座 | 夏季休業 | 新・希 | 研研 | 学級・グループ別研修 | 5月～12月(毎月1回) | 学 | 研研 |
| 手指発達講座 | 夏季休業 | 学舎、外 | 自活 | 中間発表会 | 夏季休業 | 学 | 研研 |
| 言語発達 | 夏季休業 | 学舎、外 | 自活 | 実践研究のまとめ方 | 11月 | 希 | 研研 |

| 指導・支援方法分野【4講座17回】 | | | | その他【7講座8回】 | | | |
|-------------------|--------------------|----------------|-------|------------|-------|----|----------|
| 研修内容 | 日程 | 対象 | 企画・運営 | 研修名 | 日程 | 対象 | 企画・運営 |
| 身体介助①② | 4月1週 夏季休業 | 新・希 | 自活 | 救急法 | 夏季休業 | 学舎 | 保健 |
| 摂食指導①②③ | 4月1週 6月 夏季休業 | 新・希 希 学舎 | 自活 | 不審者対応 | 夏季休業 | 学舎 | 安全防災 |
| 自活カンファ | 6月～2月 | 学 | 自活 | 福祉サービス | 夏季休業 | 学舎 | コーディネーター |
| ICT①～③ | 5月、夏季休業、11月 | 学 | ICT委 | 進路 | 夏季休業 | 学舎 | 移行支援 |
| | | | | いじめ・自殺予防 | 夏季休業 | 学舎 | 生徒支援 |
| | | | | 緊急対応 | 夏季休業 | 学 | 各学部 |
| | | | | 人権・同和 | 9、11月 | 学 | 人権・同和 |

| 寄宿舎研修【8講座22回】 | | | | ＜対象表記＞ | | | |
|---------------|----------------|-----|-------------|---------------------------------|--|--|--|
| 研修内容 | 日程 | 対象 | 企画・運営 | | | | |
| 班別指導実践研修 | 月1回 (5月～2月) | 舎 | 舎生活 | 学・……・学校職員全員 | | | |
| 寄宿舎研究全体会①② | 5月 3月 | 舎 | 舎生活 | 学舎・……・学校・寄宿舎全員 | | | |
| 実践研究中間発表会 | 夏季休業 | 舎、外 | 舎生活 | 舎・……・寄宿舎職員全員 | | | |
| プロフェッショナル | 夏季休業 | 舎 | 舎生活 | 新・……・新任者(肢体不自由経験者除く)、 採用3年未満 | | | |
| 障害理解①② | 5月 夏季休業 | 舎 | 舎生活 | 希・……・希望者 | | | |
| 摂食指導①② | 6、10月 | 舎 | 舎生活 | 外・……・外部参加者 | | | |
| 介助法①② | 4、9月 | 舎 | 舎生活 | | | | |
| IoT①② | 7、12月 | 舎 | スマート・プロジェクト | | | | |

* コロナの感染状況により計画した研修が変更になる場合があります。

* 上記研修の他、職員の研修ニーズに応じたミニ研修会(コーヒーミーティング)を適宜実施します。